

## 2025 年度立教大学一般入試 「数学（文系）」入試問題 出題意図

数学（文系）においては、数学 I、数学 II、数学 A、数学 B（数列）、数学 C（ベクトル）[旧課程：数学 I、数学 II、数学 A、数学 B（数列、ベクトル）]の各分野における数学的知識の正しい理解を測るため、単なる計算問題だけでなく、公式の適用にとどまらない論理的根拠に基づいた解答が求められる出題も行う。

### 2月9日 実施分

- I. 指数関数と対数関数、場合の数と確率、数列、図形と方程式、微分と積分、ベクトルの分野について計算を正しく行えるかを問う。
- II. 三角比ならびに三角関数における正弦・余弦などの理解が定着しているか、また、それらの諸性質を用いた計算を正しく行えるかを問う。さらに、相加平均と相乗平均の関係を正しく適用できるかを問う。
- III. 3 次関数のグラフの様子を正しく捉えることができるかを問う。さらに、3 次関数のグラフと直線の共有点の個数の状況を正しく把握できるかを問う。